

2010年9月2日

【報道関係各位】

株式会社ベネッセコーポレーション  
代表取締役社長 福島 保

## 幼児にかける1カ月あたりの教育費 「1,000円未満」の比率が増加 ～「第4回幼児の生活アンケート」の結果速報～

株式会社ベネッセコーポレーション(本社:岡山市)の社内シンクタンク「ベネッセ次世代育成研究所」では、2010年3月に、首都圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)の0歳6か月～6歳就学前の乳幼児を持つ保護者3,522名を対象に、乳幼児の生活の様子や保護者の子育てに関する意識・実態に関する調査を実施しました(経年比較は、このうち1歳6か月以上の乳幼児の保護者2,918名が分析対象)。この調査は、1995年、2000年、2005年と過去3回実施しており、15年間の幼児の生活に関する変化をとらえることができます。

首都圏の乳幼児の生活や保護者の子育て意識や実態について、以下のことが明らかになりました。

1. 1カ月当たりの教育費は「1,000円未満」の比率が増加。
  - 子ども1人にかける、塾・通信教育・習い事・絵本・玩具等の1か月あたりの費用を見ると、5年前に比べて「1,000円未満」の比率が11.7%から23.3%へ倍増した。習い事をしている幼児の比率は47.4%で、5年前に比べて10.1ポイント減少した。
2. 早寝早起きの傾向が強まっている。
  - 平日、「7時頃」以前に起床する比率は、5年前の43.4%から55.7%に増加。一方、「22時頃」以降に就寝する比率は28.5%から23.8%に減少した。起床時刻の平均は7時13分で12分早く、就寝時刻の平均は21時14分で7分早くなっており、幼児の早寝早起きの傾向が進んでいる。
3. 父親が育児に関わるようになってきている。
  - 家を空けるとき、子どもの面倒を見てくれる人が「いる」という母親は8割弱で変わらない。しかし、面倒を見てくれる人として、子どもの「父親」をあげた比率は61.5%と、5年前の50.9%から10.6ポイント増加した。

今回の調査結果からは、5年前に比べて、習い事をしている幼児の比率や、教育費が減少していることがわかりました。経済不況の影響からか、保護者は、習い事の選択や、かける教育費については慎重になっていると考えられます。一方、早寝早起きの生活リズムが望ましいとの社会的風潮も背景に、生活面においては、早寝早起きの傾向が強まるといった変化が見られました。また、母親が家を空けるときに父親が子どもの面倒を見てくれるという比率は増加しており、育児への父親の関わりは増えてきているようです。近年、インターネットなどのメディアを通じて、子育て情報に接する機会が増えていることや、また行政やNPO、地域社会などが提供する情報や場も増えてきていると考えられます。今回の調査結果の背景には、このような幼児と、幼児を取り巻く子育て環境の変化があると考えられます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報部 (担当:西沢、坂本、濱野、十河)

電話:042-356-0657 FAX:042-356-0722

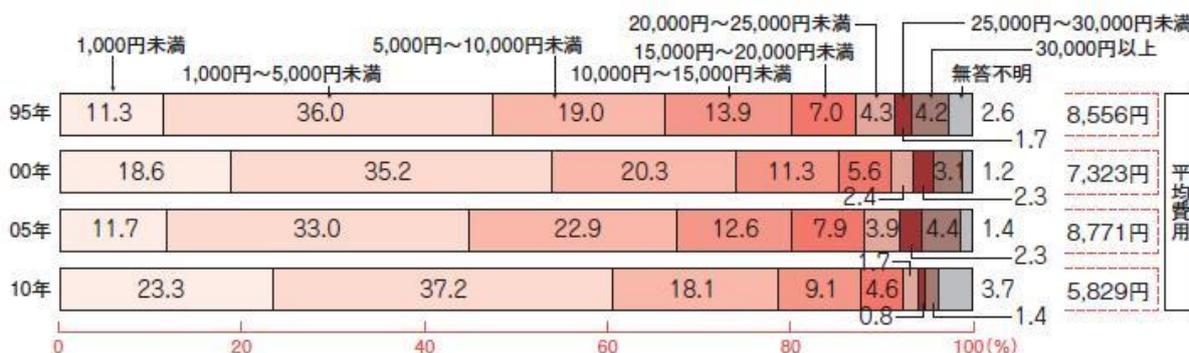
■調査概要

調査テーマ	乳幼児の生活の様子、保護者の子育てに関する意識と実態
調査時期	2010年3月(第4回調査) ※第1回調査:1995年2月、第2回調査:2000年2月、第3回調査:2005年3月
調査方法	郵送法(自記式アンケートを郵送により配布・回収)
調査対象	首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)の0歳6か月～6歳就学前の乳幼児を持つ保護者3,522名(分析対象は、経年比較が可能な1歳6か月以上の乳幼児の保護者2,918名)
調査項目	子どもの基本的な生活時間/習い事/メディアとのかかわり/遊び/母親の教育観・子育て観/子どもの将来への期待/今、子育てで力を入れていること/母親の子育て意識/父親の家事・育児参加/子育て支援など ※調査項目は経年比較が可能なように配慮したが、時代の変化に合わせて、追加・削除などの変更を行っている。

■主な調査結果

●1人あたりの教育費 (→速報版p13 図2-4-1)

Q 現在のお子様1人にかかる、1か月あたりの塾・通信教育・習い事・絵本・玩具等にかかる費用はいくらですか。(幼稚園・保育園で有料で習っているものは除きます)

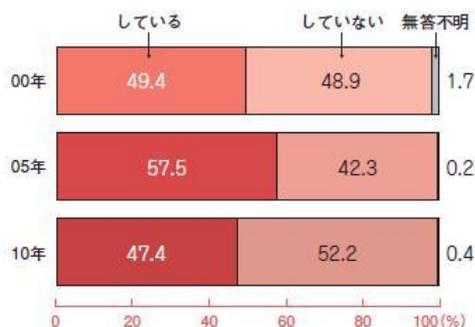


※平均費用は「1,000円未満」を500円、「1,000円～5,000円」を3,000円、「30,000円以上」を32,500円のように置き換えて算出した。無答不明の人は分析から除外している。

※95年、00年、05年調査は「幼稚園・保育園にかかる費用(就園補助等も含めて)を除いた、1か月あたりの塾・通信教育・習い事・絵本・玩具等にかかる費用を教えてください」とたずねている(ただし、95年は、質問文に「(就園補助等も含めて)」と「絵本・玩具」の部分は含まない)。

●習い事をしている比率 (→速報版p9 図1-6-1)

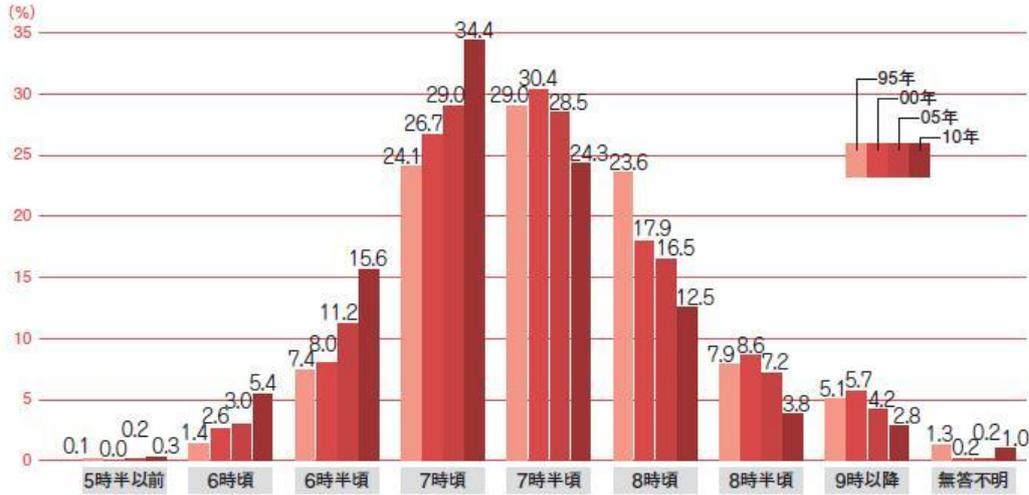
Q お子様は現在、習い事・おけいこ事をしていますか。(幼稚園・保育園で有料で習っているものや、塾・通信教育を含みます)



●平日の起床時刻・就寝時刻 (→速報版 p4 図 1-1-1～2、p5 図 1-2-1)

▽平日の起床時刻

Q お子様は平日、何時頃に起きますか。



▽平日の就寝時刻

Q 夜、何時頃に寝ますか。



▽平均就寝・起床時刻と平均夜間睡眠時間

	平均就寝時刻	平均夜間睡眠時間	平均起床時刻
全体	95年	10時間06分	7:33
	00年	9時間59分	7:31
	05年	10時間04分	7:25
	10年	9時間59分	7:13

※95年、00年、05年調査は、起床時刻、就寝時刻のいずれか、10年調査は、起床時刻、就寝時刻、昼寝時間のいずれかの質問に対して無答不明のあった人は分析から除外している。

※平均就寝時刻と平均起床時刻は「21時頃」を21時、「23時半以降」を23時30分のように置き換えて算出した。また、平均夜間睡眠時間は、平均就寝時刻と平均起床時刻から算出した。

●子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）（→速報版p14 図3-1-1～2）

▽子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）の有無

Q あなたが家を空けるとき、子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）がいます（あります）か。通常、幼稚園・保育園にお子様を通わせている時間は除いてお答えください。

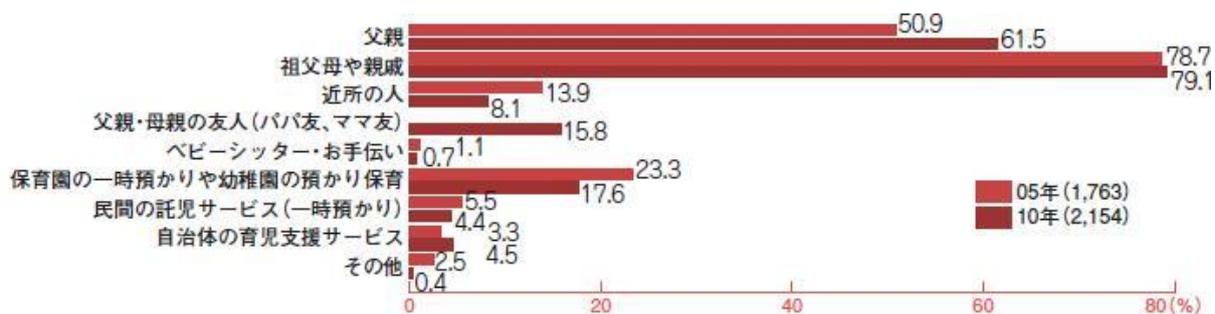


※母親のみ回答。

※05年調査は、「あなたが仕事以外で家を空けるとき、子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）がいます（あります）か」とたずねている。

▽面倒を見てくれる人（機関・サービス）

Q 面倒を見てくれる人（機関・サービス）を教えてください。



※複数回答。

※母親のみ回答。子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）が「いる（ある）」と回答した人のみ回答。

※「父親・母親の友人（パパ友、ママ友）」は、10年調査のみの項目。

【ベネッセ次世代育成研究所】

日本では少子高齢化、核家族化、女性の社会進出等、社会環境の変化が加速し、家族のあり方や親子関係を含めた子どもの育成環境に大きな変化が起こっています。このような中、ベネッセ次世代育成研究所は、個人や家族の生活視点を大切にしながら、子どもや家族が「よく生きる」ための調査研究を行っています。

■ホームページ■<http://www.benesse.co.jp/jisedaiken/> ※本調査の結果をダウンロードできます。